

2021 年度活動概要

英語辞書研究会

英語辞書研究会は、今年度コロナウィルス感染防止を考慮に入れ「英語辞書学についての意見交換、英語辞書編纂・記述に関連する他分野との学際的交流」をテーマとしてオンラインによる下記の活動を行いました。

1. 第1回オンライン例会：「英語辞書学の動向」

近年の英語辞書学の動向と、辞書学の国際的学会の活動等について、アジア辞書学会のジャーナル *Lexicography* の共同編集長を務められていた山田茂先生（早稲田大学教授）に「学習英英辞典・辞書学会の動向：“Monolingual Learners' Dictionaries - where now” (2013)の後」というタイトルでご講演をしていただいた。その後、井上亜依（東洋大学教授）より、辞書学と非常に関連の深いフレイジオロジー研究の国際的動向等を紹介した。

日時：2021年5月22日（土）10:00～12:30, 57名参加

2. 大学英語教育学会 60周年記念ウィーク SIG Rooms 参加

8月28日（土）17時30分から18時まで SIG Rooms に参加した。アカデミックリテラシー研究会の先生と交流を持つことができた。

3. 第2回オンライン例会：「発信のための辞書指導」

オンライン授業が主たる授業形態となった今、どのようにオンラインで辞書指導をすれば良いのかという問いに対しての答えは各指導者に委ねられている。そこで第2回例会では、発信のために英英辞典と英和辞典をどのように活用すれば効果的かを、磐崎弘貞先生（英英辞典からの側面、筑波大学教授）と武田三輪先生（英和辞典からの側面、フリーランス英語講師）にお話しいただいた。

日時：2021年9月4日（土）13:00～15:20, 58名参加

4. 第3回オンライン例会：

午前中は、英語辞書学に関連した6件の個別発表を行い、午後は下記のシンポジウムを開催した。本年度第1回研究会で紹介したフレイジオロジーが、辞書学においてどのように応用できるのかというシンポジウム「phraseology（定型表現研究）-辞書学への応用と再考」で3名の講師（石田プリシラ先生、石井康毅先生、井上亜依）に講演してもらった。

日時：2022年3月19日（土）10:00～15:30, 45名参加

今年度も、遠方に住む方々と交流可能であるオンラインの利点を活かした研究活動ができました。今年度の特徴的な研究活動として、英語辞書学の一部であるフレイジオロジーについて第1回例会と第3回例会で発表があり、意見交換ができたことは有意義でした。